

Catalogue No.  
20153-420

調理道具  
P26-42

卓上用品  
P43-62

膳・盆  
P63-67

木の器  
P68-90

盛込  
P91-114

ビュッフェ  
P115-123

竹製品  
P124-147

金彩・銀彩  
P148-150

弁当  
P151-175

小鉢・陶器  
P176-194

酒の器  
P195-199

そば・うどん  
P200-207

鍋・コンロ  
P208-225

せいろ  
P226-230

紙製品  
P231-298

演出小物  
P299-317

什器・備品  
P318-380

サイン  
P381-405

浴場用品  
P406-411

ギフト  
P412-418

品名索引  
P422-439

番号索引  
P440-449

## 商品ご使用上の注意

### 木製品

#### 白木・無塗装商品 (おひつ/半切/セイロ/抜型等)

本品を最初にご使用になる前に、**アク抜き**をしてください。小物は洗い桶やボウルに水をはって、酢をおちよこで1~2杯程度入れその中に浸してください。おひつなどは、中に酢水をはってください。時間的には、1~2時間が適当です。(米のとぎ汁も効果的です。)その後かるく水洗いをして、布巾で軽く水気をふき取り、**日陰干し**にしてからご使用下さい。まな板などの大型商品は、直接60~70℃のお湯を数回かけてください。



#### 1 使用前

- 軽く濡れ布巾で拭いてご使用下さい。食品の臭いや色がしみ込みにくくなり、黒ずみも防げます。

#### 2 使用後

- 水又はお湯でさっと洗い、すみやかに水気をふき取ってください。
- 長い時間水に浸すと木の老化を早め変形、変色の原因となります。
- 洗った後は、充分に乾かしてから片付けてください。生乾きはカビの原因となります。
- 乾かすときは日陰干しをしてください。直射日光に当てると、反ったり割れたりする恐れがあります。
- 洗浄機は使用しないでください。

#### 3 保管方法

- 充分乾いたら、吸収性の良い紙(ハトロン紙か紙袋)に包み、通気性が良く、直射日光の当たらない所に保管してください。ビニール袋に入ると、カビやヤニの原因になりますので避けください。

#### 4 ヤニについて

- 本品はときとして芳香のもとでもある木に含まれる樹脂(ヤニ)がにじみ出る場合があります。自然なもので害はありません。樹脂(ヤニ)は決して不衛生な物ではありませんので安心してご使用下さい。万一気になる場合は、市販の消毒用アルコール(エタノール)でヤニを木全体にのばす様にふきとってください。

#### 5 カビについて

- カビの原因は、よごれと湿気です。食品のカスが残っているかカビの原因になりますので丹念に洗ってください。もしカビてしまったら、米のとぎ汁に一昼夜浸してからたわしでごすってください。

#### 6 水漏れ、タガおち

- しばらく使用していなかった飯台や桶は、底から水漏れしたりタガおちしたりすることがあります。原因は乾燥のしすぎによるものです。しばらくの間水をはってください。木が膨らんで、水漏れしにくくなります。
- 木樹は、ご使用の準備で水に浸けたりせず、濡れ布巾で拭く程度にしてください。祝宴の準備の際、酒をそそいで長時間放置せず、なるべく間際にご用意ください。

#### 塗装商品 (ウレタン/漆)



- 製造直後の塗装商品には特有の臭いがあり、抜けるのに時間を要します。特に温かいものを盛り付けた場合、気になることがあります。短時間で完全に塗装の臭いを取りのぞく技術はありません。桶の場合は、60~70℃のお湯を桶に注ぎ、軽くかき回してすぐに捨てる作業を何度か繰り返すことで若干の緩和がみられます。
- ご使用後は水又はお湯でさっと洗い、すみやかに水気を柔らかい布でふき取るようにしてください。長い時間水に浸すと木の老化を早め変形、変色の原因となります。
- 洗った後は、充分乾かしてから片付けてください。生乾きはカビの原因となります。
- 乾かすときは日陰干しをしてください。直射日光に当てると、反ったり割れたりする恐れがあります。
- たわし、アルカリ洗剤、みがき粉等の使用は避けてください。変色、剥離(はくり)の原因となります。
- 塗装品の場合体質によりごくまれに漆でかぶれる事があります。ご注意ください。
- 洗浄機は使用しないでください。破損、塗装の剥離等の原因となります。
- 商品は丁寧にお取扱いください。塗装の剥離はカビの発生の原因となります。

### 竹製品



#### 1 お手入れ方法

- 通常は柔らかい布や布巾で空拭きしてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、水をよく切り風通しの良いところで日陰干してください。

#### 2 使用上の注意

- 湿気の多い場所や風通しの悪い場所での保管は避けてください。カビの発生の原因となります。
- 長時間湯水につけたり、直射日光に当てないでください。又レンジや洗浄機は使用しないでください。
- 竹製品等の場合、さくれだっている物もごさい。指等にささらないようご注意ください。